

第82号 山田町復興まちづくり かわら版

発行・編集 山田町役場復興企画課

都市計画マスタープラン改定に関するアンケート調査結果（概要版）について

本町では、「都市計画に関する基本的な方針」を改定するにあたり、現状における課題や町民の皆様の意向を把握するために町民アンケートを実施し、調査結果をまとめましたのでお知らせします。

1、アンケート調査の方法と回収結果

【調査の方法】

配布方法：郵送配布
回収方法：郵便回収、役場での直接回収
実施期間：平成31年4月1日～15日

【回収結果】

発送数：2500通
返送数：1114通
回収率：44.6%

2、調査結果

2-1 回答者の属性について

【年齢】

70歳から79歳の割合が23.4%と最も多く、次いで60歳から69歳の割合が22.4%と多くなり、高齢者の回答者数が多い結果となっています。

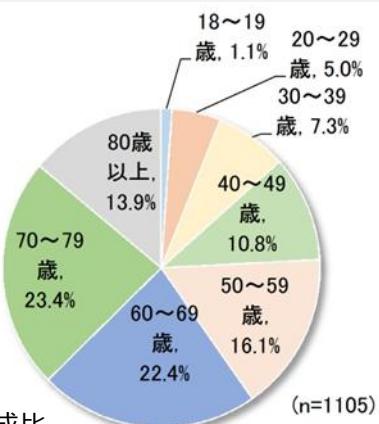


図1 年齢構成比

【山田町での居住年数】

30年以上の居住者が78.4%と最も多く、次いで20年から30年の居住者が9.1%となっています。また、震災後（居住年数5年未満）の居住者の割合は4.4%となっています。

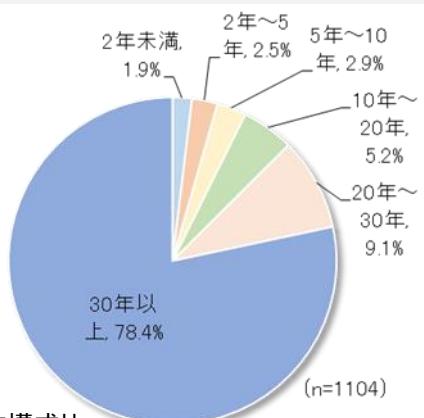


図2 居住年数構成比

2-2 現在のお住まいについて

【お住まいの地区】

- ・山田地区の居住者の割合が32.6%と最も多く、次いで船越・田の浜地区の割合が20.6%、豊間根地区の割合が19.0%となっています。
- ・回答者の居住地区は、地区別世帯構成比を概ね反映したものとなっています。

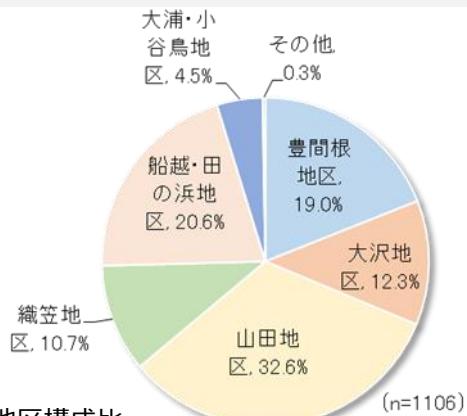


図3 地区構成比

【お住まいの住宅】

- ・お住まいの住宅の種類は、戸建ての持ち家の割合が84.7%と大部分を占めています。

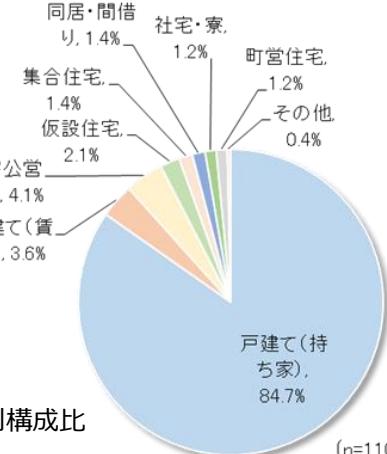


図4 住宅種別構成比

2 – 3 本町の住みやすさ暮らしやすさについて

【現状の満足度】

現状の満足度は、「三陸縦貫自動車道等の広域幹線道路の利便性」が最も高く、次いで「山並みなどの自然の美しさ」が高い結果となっています。

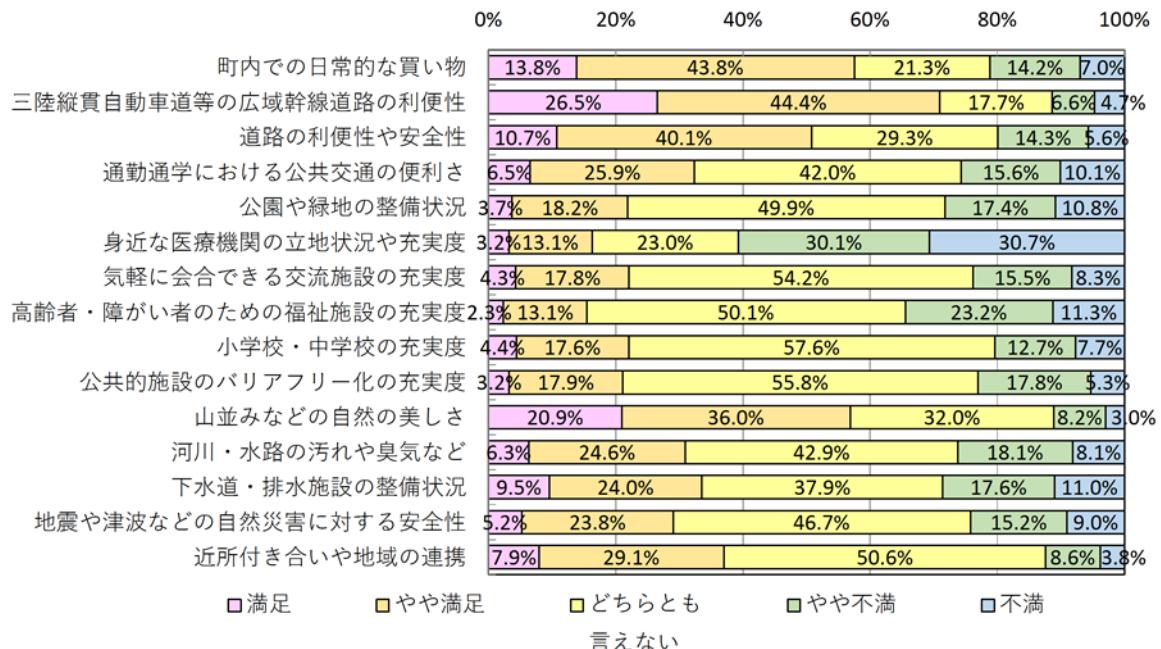


図5 現状の満足度

【将来の重要度】

将来の重要度は、「身近な医療機関の立地状況や充実度」と「地震や津波などの自然災害に対する安全性」が高い結果となっています。

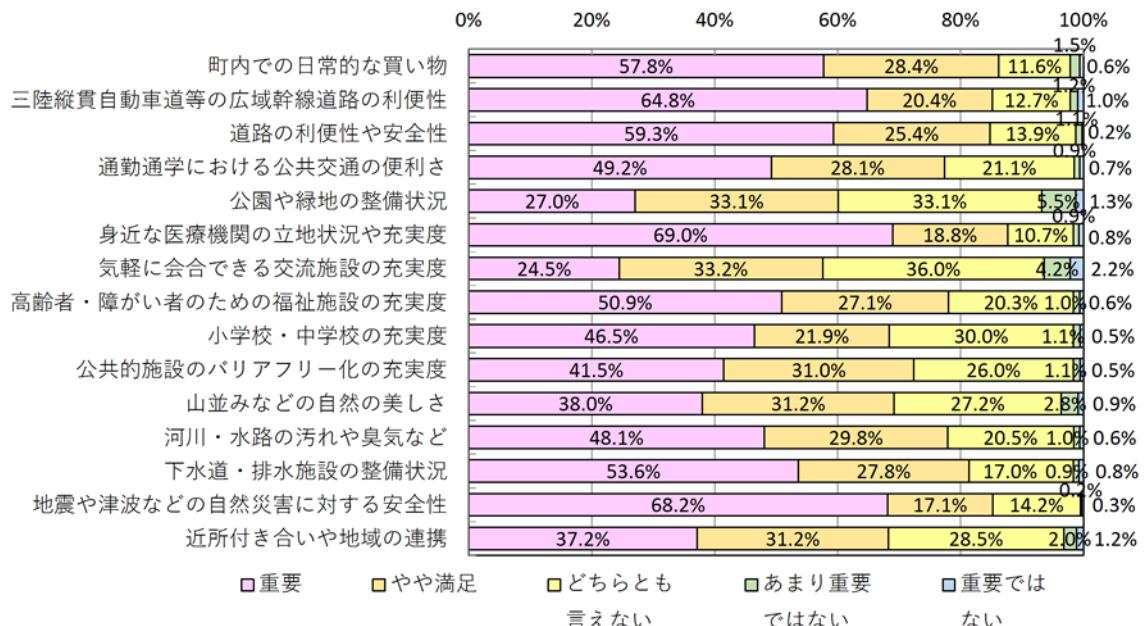
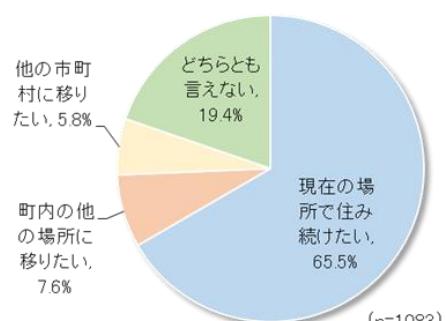


図6 将来の重要度

【定住意向】

「現在の場所で住み続けたい」の割合が65.5%を占めており、「他の市町村に移りたい」の割合である5.8%を大きく上回っています。



2 – 4 まちの将来像について

【理想とするまちの将来像】

「医療や福祉を重視したまち」の割合が75.3%で最も多く、次いで「安全なまち」の割合が56.9%となっています。

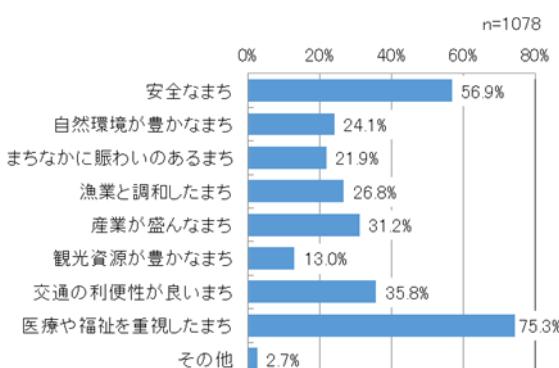


図8 まちの将来像

2 – 6 主な交通手段と公共交通の利用について

【主な交通手段】

主な交通手段は、「自家用車（自分が運転）」の割合が63.9%で最も多く、次いで「自家用車（家族等が運転）」の割合が17.5%となっており、自家用車利用が全体の8割を占めています。

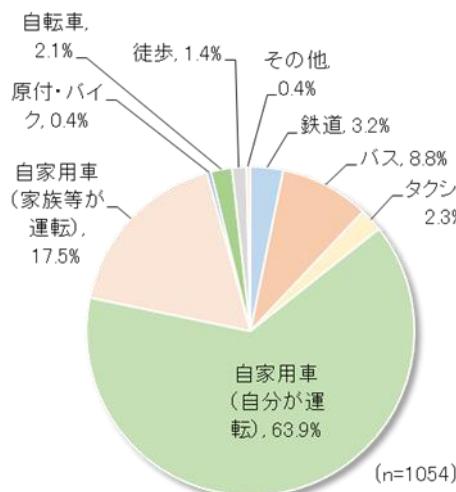


図10 交通手段構成

2 – 5 将來の土地利用について

【理想とする将来の土地利用】

「公共施設や医療機関などの公益施設が充実したまち」の割合が64.4%で最も多く、次いで「防災や防犯性に優れた安心で安全なまち」の割合が54.8%となっています。

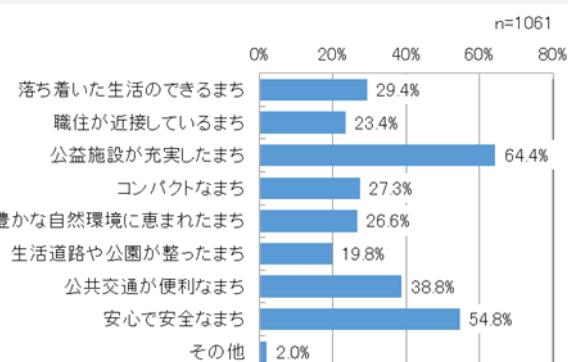


図9 将來の土地利用意向

【公共交通の利便性向上時における転換意向】

「公共交通を利用すると思う」の割合が42.2%となっており、「あまり公共交通を利用しないと思う」の割合が35.7%となっています。

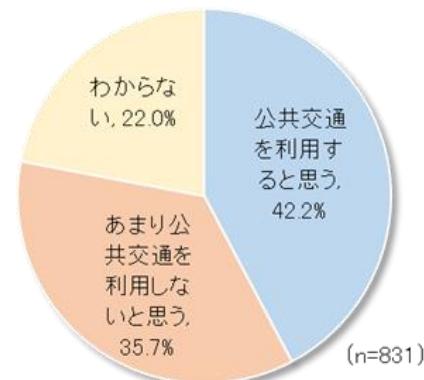


図11 公共交通への転換意向割合

2 – 7 都市施設の整備について

【重要だと感じる都市施設の整備】

「災害に強い道路網の整備」の割合が78.5%で最も多く、次いで「利便性の高い公共交通の充実」の割合が62.5%となっています。

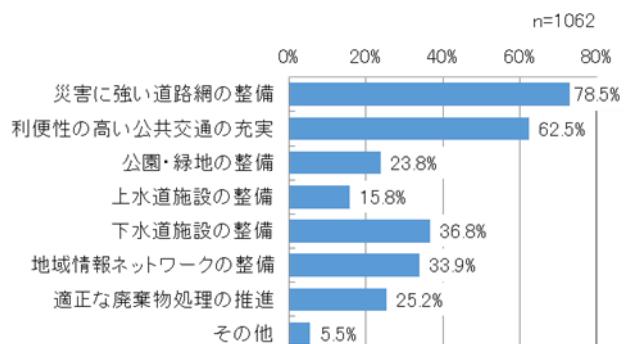


図12 都市施設整備意向

2 – 8 防災について

【重要だと感じる防災対策】

「緊急車両の円滑な通行のため、行き止まりの解消、地区内の狭い道路の拡幅」の割合が57.0%で最も多く、次いで「非常用施設（消火栓、給水施設）の確保（数、場所）」（44.3%）、「避難場所（公園、広場）」（44.0%）、「建物や橋梁などの耐震性の強化」（43.0%）と続いています。

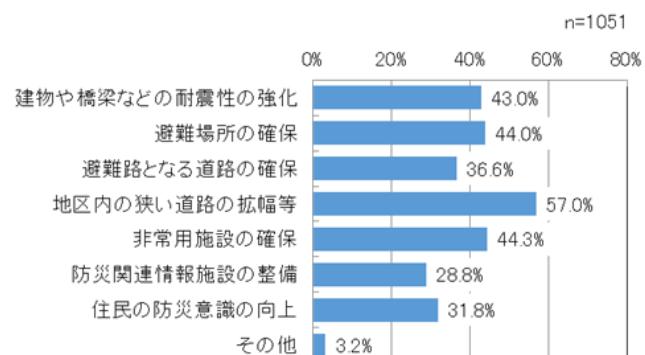


図13 防災対策意向

2 – 9 まちづくりへの参加について

【まちづくりへの参加経験】

まちづくりの取り組みや活動に参加したことが「ない」と回答した人が84.4%、「ある」と回答した人の割合が15.6%となっています。

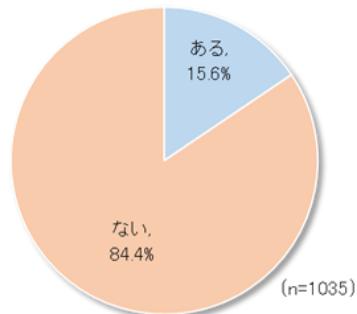


図14 まちづくり参加割合

【まちづくりへの取り組みに必要だと感じること】

「地域の情報提供（人口、歴史、基盤整備の状況など）」の割合が56.9%で最も多く、次いで「まちづくりへの人的・財政的な支援」の割合が55.5%となっています。

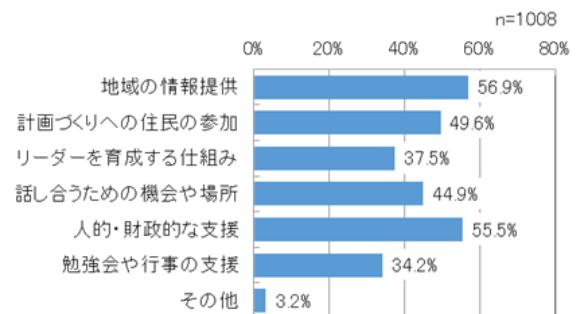


図15 まちづくり参加の取り組み

2 – 10 自由意見について

【今後のまちづくりに期待している主な意見】

最も多いのが「産業・観光・イベントの振興」に関するものであり、次いで「企業誘致・働く場の確保」、「まちづくりの復興」、「町職員への期待」、「子育て・教育への支援」と続いています。

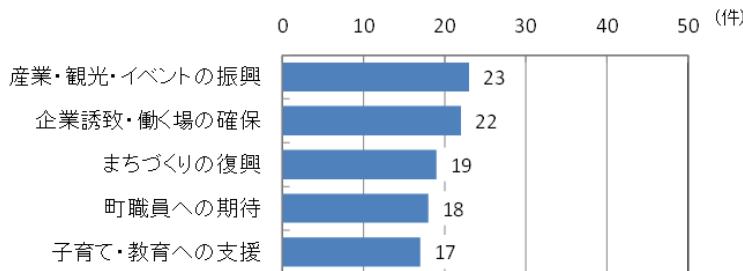


図16 今後のまちづくりに期待している自由意見

【改善が必要と感じている主な意見】

改善が必要だと感じている意見として最も多いのが「道路の整備状況」に関するものであり、次いで「高齢化対策」、「バス対策」、「医療対策」、「人口減少対策」と続いています。

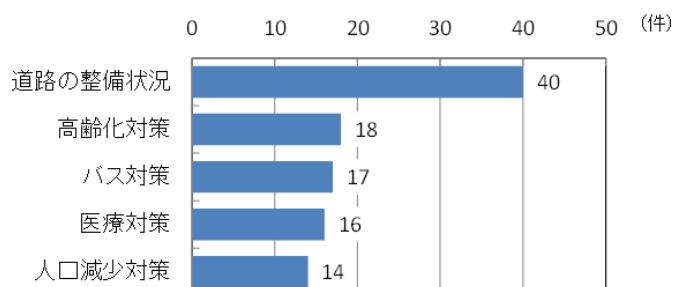


図17 改善が必要と感じている自由意見

【お問い合わせ】

町建設課 都市整備第2チーム ☎ 0193-82-3111 (内線236)

移転促進区域の利用者を募集します

町では、防災集団移転促進事業で買取した土地の利活用を図るために、利用可能な次の区画の利用を希望する方を募集します。

応募資格や申込書類等、詳細につきましてはお問い合わせください。

【公募期間】

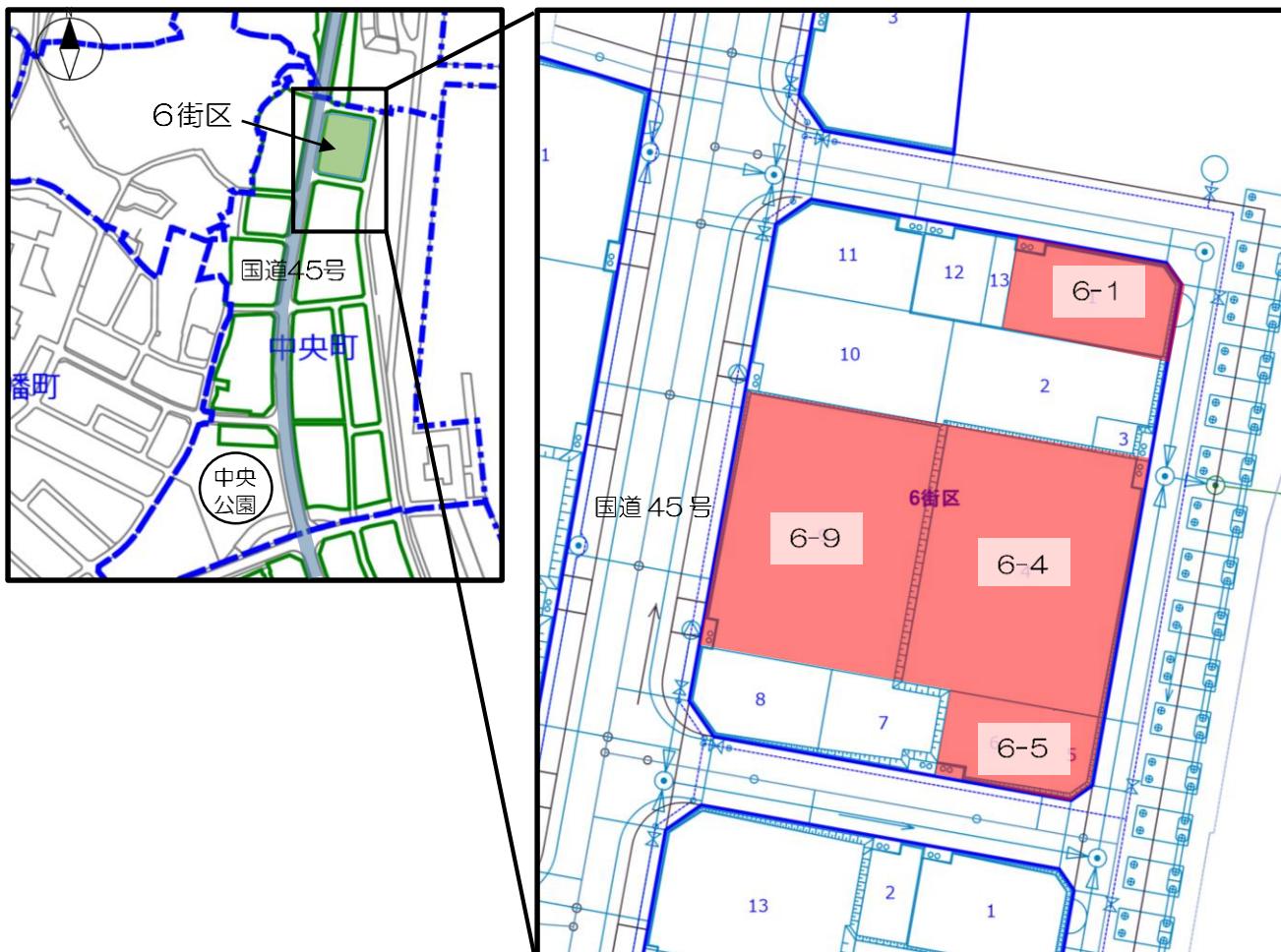
令和元年8月1日（木）～令和元年8月23日（金）

【公募地の概要（6街区）】

※建物設置の場合

区画番号	面 積	賃 料（月 額）		契約保証金	用途地域
		20年目まで	21年目から		
6-1	206m ² (62坪)	5,710円	11,421円	456,000円	準工業
6-4	711m ² (215坪)	19,665円	39,331円	1,573,000円	準工業
6-5	179m ² (54坪)	4,952円	9,905円	396,000円	準工業
6-9	711m ² (215坪)	30,700円	61,400円	2,456,000円	準工業

【位置図】

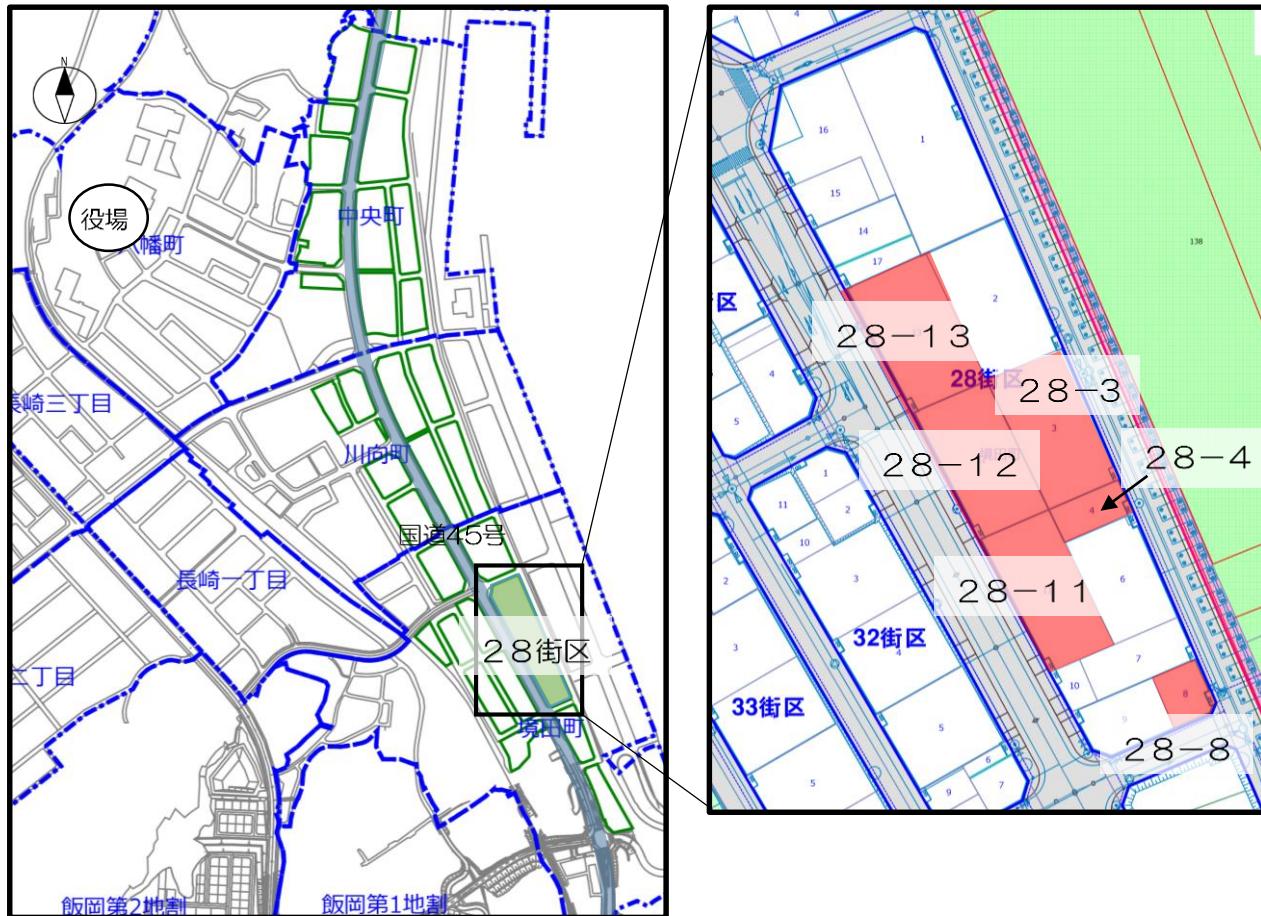


【公募地の概要（28街区）】

※建物設置の場合

区画番号	面 積	賃 料 (月 額)		契約保証金	用途地域
		20年目まで	21年目から		
28-3	663m ² (201坪)	17,828円	35,657円	1,426,000円	準工業
28-4	161m ² (49坪)	4,351円	8,703円	348,000円	準工業
28-8	160m ² (48坪)	4,325円	8,651円	346,000円	準工業
28-11	645m ² (195坪)	26,620円	53,241円	2,129,000円	準工業
28-12	658m ² (199坪)	27,176円	54,352円	2,174,000円	準工業
28-13	699m ² (212坪)	28,864円	57,729円	2,309,000円	準工業

【位置図】



【利用条件】

- 自己利用の方が対象です（貸店舗は可）。
- 居住用には利用することができません。
- 駐車場など建物を設置しない目的で利用する場合は賃料や契約保証金、契約期間等が変わります。詳しくは募集要項をご覧ください。

【お問い合わせ】

町建設課 用地チーム ☎ 0193-82-3111 (内線244)